



5歳児

さくらぐみだより

R2. 7. 1発行

最後までしっかり話を聞く習慣をつける

コロナウイルス感染症での自粛から保育園生活が再開して1ヶ月が経ちました。久しぶりの登園で少し戸惑う子もいましたが、友だちとの関わりを喜んで遊んでいる姿があります。ところが、朝の会など全体で話を聞く場面で話を聞いていない子が多くいます。外に出る時の持ち物や次にやることを3つ程度伝えるようにしていますが、行動に移す時になると、友だちを見て動く子、戸惑っている子、何をするのかかわからず「どうするの?」と聞いてくる子がほとんどです。その場において静かにしていても聞いているとは限らず、他のことに気取られていたり、友だちにちょっかいを出したり、ぼんやりして聞いて逃しているなどの姿があり、再度言われて動くというような感じです。最近、視覚的な情報が多く、目から情報を取り入れることが多いため「聞くこと」が苦手な子が多いと言われています。話を聞く力が身につけていないと、小学校に行ってから何をすればよいのかかわからず子ども自身が困ってしまうこととなります。「聞く力」をつけるには、最後までしっかり話を聞くこと、途中で自分の話を挟まないでいられるように、話す側の私たち大人にも工夫が必要になります。園では、子どもが話に集中できるように、①話している人の目を見る。②正しい言葉を使う。③短くはっきり話す。④落ち着いた口調でゆっくり話す。ということを取り組み集団で話を聞く力につなげていくようにしています。ご家庭でもこの4つを意識していくようにできるといいですね。

小学校へスムーズに移行できるように、幼児のうちに取り組むべきことはどのようなことであるかを保護者の方も理解しておくことが大事です。「乳・幼児の子育てポイントと就学までに育てほしい学びの姿」という冊子の中に小学校に備えての項目がわかりやすく書かれています。見本を用意しますので、ぜひご覧になって参考にさせていただけたらと思います。購入もできますので、担当まで声をかけてください。



《7月のわらい》

- ・水あそびやプールあそびを友だちと楽しむ。
- ・自分の思いや考えを言葉で伝える。

《活動内容》

- ・プールあそび（顔つけ、パタ足）
- ・水遊び（洗濯ごっこ、色水など）
- ・コオディネーション・体育指導
- ・製作（折り紙、絵画、はさみなど）
- ・絵の具遊び・お祭りごっこなど

持ち物の確認をしましょう!

日々の中で忘れ物が多くあります。特に週明けの月曜日は、カラー帽子、コップや紐付きタオルなどの忘れ物が多く見られます。忘れ物をしないように大人が全部用意してしまうのではなく、子ども任せにするのではなく、就学に向け自分で支度ができるように、忘れ物がないか気づかせたり、大人と一緒に確認するようにしましょう。

〇おたんじょうびおめでとう〇

7月生まれのおともだち

6歳おめでとう!!

